

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

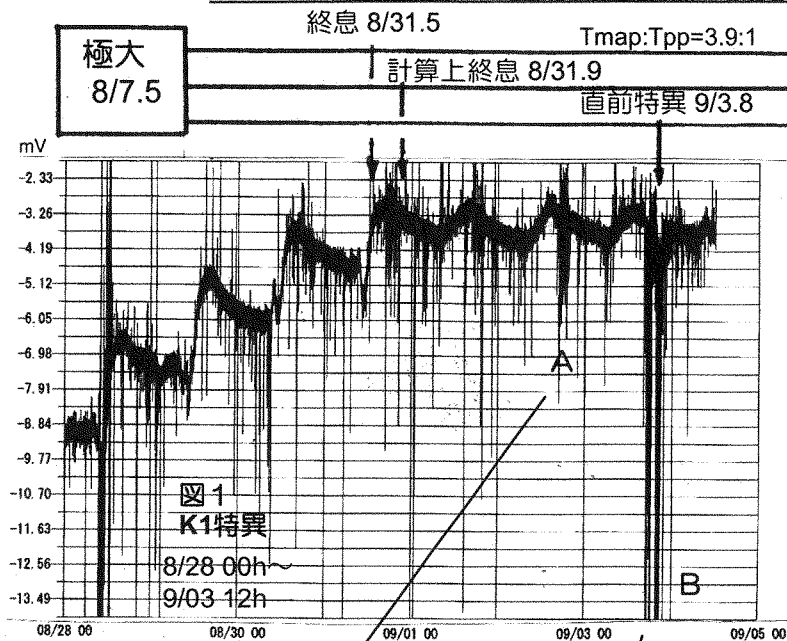
続報 No.311

2021.09/04 (土曜) 14:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

(誤差 9月10日±2日)

No.1778続報 K1 直前特異の可能性 9月9日 発生の可能性に修正



9月08日±3 前号では9/8 (or9/11) 発生の可能性と報告致しました。情報配信後の9/3 19時を中心を高知観測点K1に特異変動出現を観測致しました。左図1のB部変動です。時間軸を圧縮表示してあるため、AとBは同じような変動に見えますが、図1のA部を拡大した図2と図1のB部を拡大した図3を参照して頂きますと、A部変動は基線からの櫛歯変動（地殻地震特有変動）であり、B部変動は櫛歯変動ではなく、特異変動であることが明らかです。B部は特異変動の再出現と認識されます。前兆変動終息後の静穏期に前兆変動が再出現した場合は、その再出現変動を直前特異とし、直前特異～発生を(Tpa)、極大～発生までの期間(Tmap)とした場合、 $Tmap : Tpa = 6 : 1$ の経験則があります。K1では極大=8/7.5 直前特異=9/3.8 認識で、9月9日±3発生の可能性が計算されます。あくまでも計算上は9月9日午前発生の可能性となりますが、そこまで正確とは思えません。

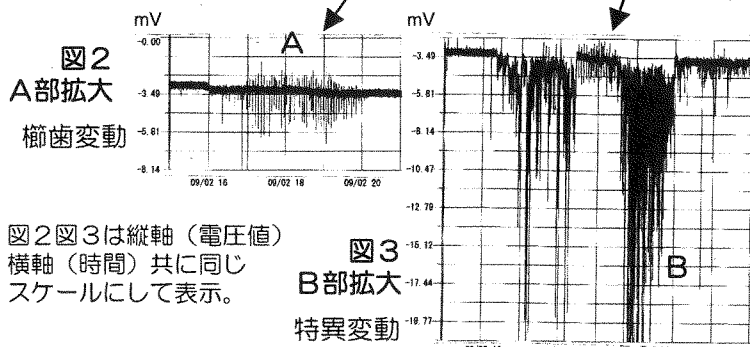


図2図3は縦軸（電圧値）横軸（時間）共に同じスケールにして表示。

前号ではK1特異の終息を8/31.5、基線電圧値が正常基線電圧値に上がった時間帯で計算しましたが、電圧値が安定した8/31.5以降に終息がある可能性となります。仮に9月9日発生の場合は計算上は、8/31.9終息となります。図1の上部参照。

以上のように直前特異の可能性が高い変動が観測されたことから、経験則を使用して、9月8日より9月9日発生の方が考え易いこととなりますので、1日の違いですが修正させていただきます。誤差はあると思われるので、誤差は9月10日±2のままと致します。2008年07月から13年2ヶ月という過去例の無い長期に渡る前兆継続のNo.1778。25ものステージ変化など全て過去例にない初めて体験する前兆変動です。対応地震が推定通りとなるか非常に不安です。しかし明らかな地震前兆変動です。仮に推定に近い地震発生となった場合でも被害が少ないことを祈ります。対応活動が推定内容と大きく異なった場合は平に陳謝致します。明日以降本推定を修正すべき変動が観測された場合は続報致します。

2008年07月から13年2ヶ月という過去例の無い長期に渡る前兆継続のNo.1778。25ものステージ変化など全て過去例にない初めて体験する前兆変動です。対応地震が推定通りとなるか非常に不安です。しかし明らかな地震前兆変動です。仮に推定に近い地震発生となった場合でも被害が少ないことを祈ります。対応活動が推定内容と大きく異なった場合は平に陳謝致します。明日以降本推定を修正すべき変動が観測された場合は続報致します。

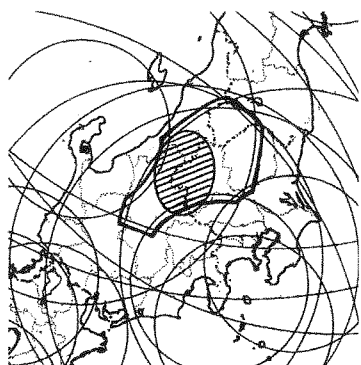


図4 推定領域図

- ◆推定領域：図4太線内領域内・斜線域参考推定領域
斜線参考域=浅間山・白根山等火山近傍領域
- ◆推定規模：M8.0±0.3
(近傍火山活動活発化の可能性も有るが不明)
- ◆推定時期：9月9日 誤差9月10日±2日期間内
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：複数BT=AM 9:00±2 (CH34BT重視= AM 7:00±3)
または
複数BT=PM 6:00±2 (CH34BT重視= PM 6:30±2)